



令和6年度 福島県立会津支援学校 学校経営・運営ビジョン



学校教育目標

学びを積み上げ、豊かな心と健やかな体を養い、地域とつながり自立と社会参加をめざし、たくましく生きる人間の育成を図る。

- 自ら学び考え行動する力 (学び)
- みんなで協力し思いやる心 (協働)
- 元気で明るい心と体 (健康)

<経営方針>

- 1 児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、学びの連続性を重視しながら最も適切な指導及び必要な支援を提供し、学校教育目標の達成をめざします。
- 2 主体的・対話的で深い学びを実現し、ICT機器を効果的に活用した情報活用能力の育成を重視する学びの変革を進めながら、地域の中でたくましく生き抜く児童生徒の育成をめざします。
- 3 地域の資源を活用し、生涯学習の基盤となる学びの充実を図るとともに、教育活動を広く発信し、本校及び特別支援教育の理解・啓発に努め、共生社会の形成を推進します。
- 4 労働、医療、福祉等の関係機関との連携・協働を強化し、自立と社会参加に向けたキャリア教育を充実させ、進路実現、自己実現に必要な力を確実に育成します。

校長 猪俣 康彦

地域とつながり、自分らしく生きる児童生徒の育成をめざして

I 学びの変革と充実

- 1 学びの変革を実現するため、ICT機器を効果的に利活用し、「個別最適化された学び」や「協働的な学び」、「探究的な学び」の充実を図ります。
- 2 一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、年間指導計画や個別の指導計画を活用し、授業実践・評価・改善に努めます。
- 3 すべての学部においてキャリアパスポートの作成及び活用により、自立と社会参加を目指す系統的なキャリア教育を推進します。

II 健康と安全・安心

- 1 医師・看護師・保護者等と情報を共有して事故を防ぐとともに、児童生徒一人一人の健康課題が解決できるよう、健康教育の充実に努めます。
- 2 危険や災害から児童生徒が主体的に身を守るための安全教育・防災教育の充実を図ります。
- 3 発達支持的生徒指導によって人権尊重の意識を高めるとともに、いじめ・虐待等の早期発見・早期対応に努めます。

III 教師の「専門性の向上」

- 1 学び続ける教師として、職務や研修を通して、指標*のステージ(経験年数)に基づく資質能力の向上に努めます。
*校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版(改訂版)】
- 2 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の実施による成果を、教育活動に還元します。
- 3 連続性のある多様な学びの場を実現するため、地域の特別支援教育の振興に貢献します。

IV 地域との「連携・協働」

- 1 地域のセンター的機能の役割を果たし、誰一人取り残さない教育体制を構築するため、特別支援教育に関する情報を提供します。
- 2 地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を推進し、障がいのある児童生徒の理解推進に努めます。
- 3 福島県立博物館や関係機関・企業等の地域資源を活用し、地域の一員として社会参加する基盤整備を推進します。

Well-being の実現

(Well-being) = 子どもたち一人一人の多様な幸せと学校や社会全体の幸せ)

- 高い倫理観と使命感をもち、不祥事を防止します。
- 働き方改革を推進し、持続可能な教育環境を作ります。

※「開かれた学校」をめざし、積極的に情報発信しています



- 対話と協働を重んじ、個性を伸ばし多様性を尊重します。
- 地域の一員としての活動を推進し、共生社会の形成をめざします。